

ゆうかり放送委員会提供
ゆうかりに乾杯
第86回放送の概要 (2014年9月27日放送)

パーソナリティ

さくら (安本久美子)
タロウ (佃 由晃)
なか (中嶋邦弘)
あな (岸本幸恵)

コアラさんの地域瓦版

かりん (妹尾優香)



ミキサー

門ちゃん (門田成延)

相談役

わだかん (和田幹司)

会計

小山俊則

(CM) 尼崎で配電用部品を製造している、「オーテック」という会社ですが、そのかわり、2種類の米焼酎、「ダンディーズスマイル」と「親父のほほえみ」を販売しています。水割りでおいしく、お米のまろやかさを感じられる米焼酎です。身体を酸化させる原因となる活性酸素を、減少させ、老化予防、美容に有効な「水素水」の販売も行っています。

本日は、尼崎市のオーテック様 (電話06-6489-1314) の御協力を頂きました。

(CM) 「10月1日は、コーヒーの日」みなさんご存知でした？

全日本コーヒー商工組合連合会では、1999年から毎年10月1日のコーヒーの日に合わせて、レギュラーコーヒーフェアと題したイベントを開催しています。日頃お世話になっている方々へ、コーヒーをプレゼントしては、いかがでしょうか。

本日はエキストラ珈琲様 (電話078-671-0135) のご協力を頂きました。

1. ゲストコーナー(1): 司法書士 村上明貴子さん (80 陽会)

村上さんは兵庫高校卒業後、産業医科大学に入ったが途中で医科大学を辞め、京都大学文学部に進学した。医者を選んだのは、子供の頃、人の役に立つ仕事は何かということだと思っていて、高校は理系を選んだ。母子家庭であったので、担任の中澤先生が、いいところがみつかったということで九州にある産業医大を紹介してくれた。将来、大学指定の所で9年間働くと、授業料が免除され月々給料ももらえるという条件であった。家計にも負担をかけずに済むので、夢を抱いて進学した。同様の制度があるのは防衛医科大学。成人式のため連休時に実家に帰っていた時に阪神大震災を経験し、お母さんが怪我で入院し、精神的にも追い詰められ、九州に戻って勉強を続けられないと思い退学した。人の役に立ちたいと思い選んだ医者道であるが、周りの学生を見ると親が医者の場合が多く、毎月何十万もの仕送りを受け、余裕のある生活を見て、一途に医者になりたいと思ってきた気持ちが萎えてしまったことも、医科大学を辞めた要因であった。

医科大学を辞めたままでは高卒のフリーターであると思い、自分も納得できず、親にも顔向けできないと思い、また元々理系の勉強はあまり得意でなかったため、文学部に行くための勉強をし、京都大学文学部に入学した。勉強自体の内容が面白かったため、楽しい学生生活を過ごした。専攻は第1次世界大戦以降の現代史で、第1次世界大戦後は、初めて世界が一つになって戦争したり、国連を作ったりした時代で、第1次大戦後の世界全体の動きを勉強した。

就職活動は、気付いた時周りの学生はすでに始めていた。京大にストレートに入っていないという負い目と、普通に就職活動はいけないという思い込みがあった。また当時はバブル崩壊で冷え切っていた就職氷河期のひどい時期であった。考えているうちに年が明け、新聞の就職欄の事務員募集が目にとまり、履歴書を送ると来週からくるように言われ、貿易会社に就職した。社員は10人程で、日本人は2人、他は外国籍で、日本の法律に基づく会社ではあったが、社長の言うままで労働時間は滅茶苦茶で、飲みに行くとき民族楽器を持って踊って騒いでいた。日本人2人はポカンと見ている状態であったが楽しかった。会社を知るにつけ日本の商習慣に合っていない事がわかってきたので、自己都合で辞める事を社長に申し出た。次の人が見つかるまで無休で働くように言われ、波風を立てるのが嫌で2カ月ほど働いた。無給の件については、辞めた後、行政に相談しに行けば対応してもらえると甘い考えを持っていた。

2~3カ月経って、学生時代バイトをしていた学習塾の知人から、広報の仕事を募集しているという話があり、応募し採用された。入社初日に労働基準局の捜索があり、ひたすら切手貼りをしながら様子を見て一日時間を過ごした。前の会社もひどかったが、今度の会社もどうかと思い、辞めようかと思っただが、履歴書に傷がつくと考え思いとどまり、5年間程働きその間に結婚した。仕事は私立の中、高等学校に行き、体育祭、文化祭、新しい教育システムなどを取材し、進学情報誌を作ることで、毎日違う所に行き、違う先生にお会いし、子供達と一緒に走ることもあり、こんな仕事世の中にあるんやと思い、とても楽しかった。4年目に子供が出来、出産後も続ける意向を上司に伝えていたが、産休後に復帰すると、前の仕事は任せてもらえず、倉庫番の仕事や、エクセルで作った数字を計算機で足していくと言ったわけのわからない仕事に変わった。辞めてほしいけど法律上は出来ないという態度が見えた。会社組織では自分を生かせる仕事はないので、個人の力を発揮出来る仕事として、また貿易会社で2カ月分の給料を損した事、入社時の労基の捜索など、法律を知っておく事が大事と思い、司法書士の道を選んだ。法律を知らない人は弱くなる事を体験したからである。子供がいながら座学（授業ビデオを見るなど）で資格がとれることも選んだ理由である。

2. ミュージック：言葉に出来ない（小田和正）

1982年発表。山田孝之さん、沢尻エリカさん出演の2006年の映画「手紙」の挿入歌です。

3. ゲストコーナ（2）

村上司法書士事務所（078-302-7520）は4年前に開設した。司法書士の基本の仕事は不動産登記、商業登記（会社設立、役員変更、増資登記など）が2本柱の重要な仕事です。その他、簡易裁判所での140万円未満の裁判、成年後見などである。村上さんの事務所の大きな仕事の半分は登記、残りは成年後見である。

成年後見は、認知症や知的障害で判断能力が落ちている方の代わりに、財産の管理、施設に入る時の入所手続きなど、社会的に弱い方の手伝いをする仕事である。この仕事は身内がいらない方の他、子供さんが関東で生活しているためしょっちゅう帰って来られなかったり、子供さんがいても親の世話をしている状況にない場合など、色んなケースがある。村上さんは今6人の成年後見をしている。

成年後見の手のかかったケースは、地域包括のケアマネージャーから依頼された認知症がかなり進んだ一人暮らしの80歳過ぎの女性の場合である。年金が出ているはずなのにお金がなく、食べるにも事欠き、ケアマネージャーから事情が全く分からないが、とにかく成年後見人になってほしいと頼まれた。ケアマネージャーは行政に状況を知らせ、後見人をたてる事になり、神戸市長が申立人になり村上さんを後見人とする申し立てを裁判所に提出し決まったものである。

初めて女性の家を訪問した時はゴミ屋敷でドアも開かず、羞恥心もあり家に入れてもらえず、玄関先でドアを10cm程開けて話すような状態であった。毎日朝晩通い、お茶やみかんを差し入れているうちにドアのすき間が広がり、心を開いてくれるようになり、室内に入れてもらえるようになった。ゴミ

を捨てに行く事が出来なかったようで、生ゴミもあり、害虫も発生していたが、本人は慣れていてゴミの上に布団を敷いて休んでいた。お金に関係するものを調べた結果、年金は受け取っており、年金支給日に全額引き出されており、悪徳商法に引っかかっている事がわかった。村上さんは法定代理人になっているので、銀行に成年後見人である事の手続きをすることにより、村上さん以外の第3者が出金出来ないようにした。悪徳商法に関しては何百万の借金があり、自己破産の手続きをし、経済的にきっちりさせた。

ゴミ屋敷の掃除をする必要があるが、お金がないので年金から残った5万円程を基に、これだけしかお金がないがどれだけ手伝ってもらえるかを10社程に電話をし、やっと業者を見つけた。村上さん、ケアマネジャーと一緒に嚴重な装備で掃除し2トントラック2台分のゴミを搬出した。人が住める状態になるとキャラクターの良いお婆ちゃんから「きれいになった、ありがとう」と言われ、ゴミがあった事も忘れていた。今は毎日デューサービスにも出かけ、ヘルパーさんの掃除も入り、普通の生活に戻っている。食事については、朝食は近所の喫茶店で一番の楽しみモーニングを食べ、店主に事情を説明し、後払いをしている。昼、夕食は必要な時は神戸市の宅配弁当を利用している。この女性は当初の状況が悪すぎたので、村上さんはとてもやりがいを感じている。孫のようにかわいがってもらっている。

村上さんは元々弱い人を助けたいと思っており、お金持ちは勝手にしてよと思っていた。司法書士の仕事を始め、遺言、相続などの仕事を通じて、この年になって気付いた事は、お金があるからといって全てが幸せではないということである。依頼者からこれだけお金はあるが、子供の一人は障害を持っているのでどのように残すのがいいのか悩んでいるといった相談を受ける。その人その人に悩みがあり、少しでも手伝いできることがありがたいと思えるようになった。

村上さんの夢は、子供の頃から弱い人の役に立ちたいと思い、その当時は医者になるしかないと思っていたが、今は別の意味で夢がかなってきたと思えるようになった。今やっている事は、ケアマネジャー、行政、医者がそれぞれの目線で対応し、そのチームワークで弱者を支えている。村上さんはその一部を担っているだけであるが、誰かの役に立っている事が有難いと思う。

4. 地域瓦版

- 10月6日(月)、13時～16時30分、神戸国際会議場メインホールにおいて、阪神淡路大震災20年事業、これからの災害ボランティアセンターを考えるフォーラムが開催されます。参加費 無料で定員500人です。基調講演は「ボランティア元年」からの20年を振り返る、です。「これからの災害ボランティア活動支援」について、のパネルディスカッションもあります。
- 10月12日(日)、13日(月)、第8回三国志祭が新長田で開催されます。武術大会、パレード、人形劇、朗読会など盛りだくさんの内容です。祭に深く関わっている菅澤博之さん(64歳、陽会、野球部)にお越し頂きました。企業へのセミナー講師、孫子兵法塾を主宰し、三国志祭で講座を開いています。今回の講座は10月13日、ピフレホール会議室で15時～16時半まで、テーマは「黒田官兵衛と孔明・司馬懿 参謀の生き方」です。二人の参謀の生き方を会社と考え、現代社会の組織の人間関係の中で兵法の言葉を紹介し話されます。申込はピフレホール、078-621-1120です。
- 六間商店街 メインステージ「おやこ三国志 PROJECT ステージ」
10月12日 11時～ オープニングステージ(みんなの紹介や三国志ファッションショーなど)
14時～ 人形劇「孔明と妖怪鳳」その他、歌あり踊りありの楽しいステージ

三国志講座
「黒田官兵衛と孔明・司馬懿 参謀の生き方」
●15時～16時半
新長田
ピフレホール
会議室
●事前申込み制
先着50名様
孫子兵法研究家
菅澤先生

三 国 志 祭

神戸・新長田 第8回

10月12日(日) 13日(祝)

新長田南地区商店街一帯

入場観覧 無料

三武将揃い、踏み。劉備、関羽、張飛の四ネトル像がパレードに登場。

この感動、予測不能! 神戸・新長田、熱き二日間。

三国志的EVENT続々決定中。

中国武術大会
●12日(日)11時~16時 ●華人広場
全国から参加「中国武術の演武大会」
だけ開催です。
●第一部/拳法組(中国武術演武会)
●第二部/第8回(新武術コンテスト)

三国志マニアの小学生
鑑賞大会有内教授との再対決!
●12日(日)15時~16時
●三国志マニア小学生鑑賞
●19年と竹内先生をお呼びして
【新武術コンテスト】の再演をします。

三国志パレード
●12日(日)10時~17時半
●六甲道商店街一帯(大正)から
1997年(大正)商店街(大正)に
54メートル「三国志」人形と
獅子舞を先頭に武術の熱気のあふれる
パレードです。

特別番外企画
夜のテーマ「三国志」
「英傑群像サイト」
●12日(日)17時半~
●KOB三國志カーテン交流館
●参加費2000円
ゲストに新長田氏、藤原一孝、
竹内教授をお迎えします。

大正筋商店街
コミュニティーハウス会場
●12日(日)、13日(祝)11時~15時半
●大正筋商店街アスレチック4層1F
●新長田地区自治会連合会
●三国志的中華音楽・演説・京劇を
お楽しみください。

同時開催
六甲道
三国志祭
主賓 六甲道商店街5丁
LINEの福山光輝
三国志スタッフを
つづけた男
原 寅彦氏トークショー
「待てあわてるなこれは
孔明の賢だ」
●13日(祝)15時~16時
●KOB三國志カーテン交流館

新長田駅へは
●神戸駅地下街「三宮駅」9分12分
●山陽線「新長田」12分
●山陽線「三宮」15分
●山陽線「三宮」15分
●山陽線「三宮」15分
●山陽線「三宮」15分

EVENTは決まり次第 三国志祭 検索にて発表します。

ようやくに乾杯の過去の放送音声と文書化した放送概要は、下記URLで視聴いただけます。

<http://yukari.hyogo.jp/>